

令和3年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山国際大学

代表学生：渡辺 真梨華

指導教員：佐藤 綾子 教授

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>呉羽梨農業の事業継承に関する研究 ～アグリ・ツーリズムの発想を応用した 呉羽梨関連商品の開発～</p>
<p>研究概要</p>	<p>呉羽梨は富山の貴重な農産物であるにもかかわらず、年々農家や農地面積が減少している。そこで、県内外の若者をターゲットに据え、後継者不足解消に少しでもつなげるため、呉羽梨の魅力をアグリ・ツーリズムの発想を応用しながら発信する。</p>
<p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>まず、呉羽梨の生産および商品化、販売の現状につき、文献・資料研究および富山県職員、梨農業従事者の方々へのヒアリング調査を実施した。ここでは梨出荷量減少を補完する梨のブランド化の動きや、後継者不足の要因を整理することが出来た。</p> <p>そして、後継者不足につながる魅力発信手段として本研究が着目するアグリ・ツーリズムについては、「NPO 法人グリーンツーリズムとやま」の方へのヒアリングから、後継者不足貢献への可能性を確認することが出来た。</p> <p>これらをふまえ、コロナ禍においても実施可能な企画として早稲田大学の学生と協働で「リモート梨狩り」の企画を考案し、実施した。今後はリモート梨狩りに関するパンフレットの作成など、関連商品につき検討する予定である。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<p>梨関連商品の企画検討にあたり、いろいろな梨の品種で味あわせをしようと考えていたが、8月の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ひとつの品種(新高)のみで試すこととした。</p>



富山県富山農林振興センター南條氏  
へのヒアリング調査



山田農園におけるヒアリング調査



リモート梨狩りの様子